

観点別学習状況評価問題

《解答》

第8単元 計算のきまり①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	30 (各5)	① 29 ② 10 ③ 170 ④ 70 ⑤ 22 ⑥ 6	【知技】 ()を用いた式の計算や四則混合の計算の順序を理解している。	()内を先に計算することや、乗除を加減より先に計算するきまりを再確認する。
②	20 (各10)	式 $25 \times 4 + 150 \times 2$ = 400 答 400円	【知技】 場面に応じて1つの式に表すことができ、問題を解決することができる。	場面の様子を絵や図、ことばの式などに表して考える。
③	30 (各10)	① 60、98 ② 43、17、6、360 ③ 7、100、700 (完答)	【知技】 計算のきまりを活用し、工夫して計算することができる。	計算のきまりを確認し、そのまま計算した場合に比べて、計算がより簡単にできることを理解できるようにする。
④	20 (各10)	① 10、900 ② 10、10、100、9000 (完答)	【知技】 乗法について成り立つ性質を活用して、計算の答えを求めることができる。	$60 = 6 \times 10$ 、 $150 = 15 \times 10$ を確認し、計算のきまりを活用できることを理解できるようにする。

第8単元 計算のきまり②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① ウ ② イ ③ ア	【思判表】 式から具体的な数量の関係を読み取っている。	まず、文章で表された数量の関係を図で表す。その後、式で表すようにさせる。
②	100、2、100、2、100、2、700、14、686	【思判表】 計算のきまりを活用し、工夫した計算のしかたを考え、説明している。	$98 = 100 - 2$ であることを確認する。また、分配法則を使って工夫した計算ができることを確認する。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	12～9問	8～5問	4～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことの2観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことのどちらか1観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、学習の感想とさらに学習したいことが書かれていない。